

地域の安全のために『一致団結！』

DAN!!

宮崎県消防団だより「ダン!!」

[Vol.12]

2018.3 "March"



地域防災に女性のパワーを！

[第4回]

宮崎県女性消防団員活性化大会

消防団のさらなるパワーアップへ

ドローン基礎訓練が
行われました！

消防防災関連情報 !!

宮崎県防災・危機管理情報のホームページ
[http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kiki-kikikanri/
kurashi/bosai/bosai_kikikanri_joho.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kiki-kikikanri/kurashi/bosai/bosai_kikikanri_joho.html)

総務省消防庁のホームページ
<http://www.fdma.go.jp/>

椎葉村女性消防部の皆さん



地域防災に女性のパワーを！ 宮崎県女性消防団員活性化大会

平成30年1月27日（土）、西都市民会館で開催された今大会。県内の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動や成果など情報交換会を行いました。今回は河野知事も参加し、「私たちの消防団愛（こい）～結んで行く絆（むすび）～」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

練・救命講習・寸劇の練習が主な活動です。私たちのモットーは、宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ」。いつ何があつても活動できるように奮闘中です。

島田 門川町消防団では、女性

も男性と同じよう現場活動に参加しています。背負い式消火水のうの準備や使用、待機を想定した食料の準備など、直接的な消火活動以外にも大切なことがありました。

今は、消防団活動が私の生きがいにもなっています。地域を守る一員になれたこと、そしてその環境を与えてくれた方々に感謝の気持ちが絶えません。



トニーに、主に保育園を訪問し、啓発活動を行っています。体験学習や寸劇を通して、園児たちの心に残る防火教育ができればと考えています。

家族をつなぐ消防団活動

10年以上前に、佐土原町

女性消防隊として操法大会に出場させていただきました。練習がきつかったことを今でも覚えています。冬はかじかんだ手でホースを伸ばし、夏にはTシャツが絞れるほど汗をかきました。

やりがいたくさん

佐藤 日南市消防団女性部では防火診断や、敬老会に参加して、寸劇による啓発活動に取り組んでいます。高齢者のお宅で、世間話をしたり、相談を受けたりしていると、困っている人たちの力になりたいと強く思います。ラッパ隊にも所属しているので

平田 私たち日向市消防団女性部は、操法大会の練習や規律訓

すが、イベントに参加した際に、地域の方から「良かつたよ！頑張ってね」と声を掛けてもらったり、野菜をいただいたりと優しくに感動します。これからもこの繋がりを大切にしていきた

司会 中原さんは分団長という役職ですがどのような活動をされていますか？

西都市立三財中学校の生徒による「石野田臼太鼓踊り」。古くから行われている虫追いと火除けの踊りです。

平田 私たち日向市消防団女性部は、操法大会の練習や規律訓

中原 私たちは、「自分たちの地域は、自分たちで守る」をモッ

digest

大会ダイジェスト

今回の大会には、およそ300名が出席。パネルディスカッションのほか、地域の方々による催し物や、元北京オリンピック陸上日本代表の小林祐梨子氏の講演などが行われました。



西都市立三財中学校の生徒による「石野田臼太鼓踊り」。古くから行われている虫追いと火除けの踊りです。



白梅保育園の園児による和太鼓の演奏。園児たちが元気いっぱい演奏を披露してくれました。

た。それでも、練習の前に子どもたちの食事の準備をすませ、習い事の送迎をし、バタバタと練習に行つっていました。

思い返すと、私自身も大変でした。私が一番辛かったのは、留守番をする子どもたちに「また消防？」と言わせていたことですね。それでも、大会に向けて練習に励む私を見ながら、次第

に子どもたちも応援してくれるようになりました。本当に家族に対する感謝の気持ちでいっぱいです。

司会 知事は、操法大会をご覧になつたことはありますか？

知事 2年に一度行われる男性の県大会には毎回出席しています。日頃の訓練があるからこそ

現場でも迅速に活動できるのでしょうね。とても意義のある大会だと思います。

司会 重永さんは夫婦で消防団員なんですね？

重永 5・6年ほど前に、消防活動は夫婦共通の話題になつていますね。

ですが、夫婦で活動することにおいて困ることが1つだけあるんですよ。それは子どものことです。活動は朝が早いこともあります。保育園が始まると

出会い、木城町で夫婦生活がスタートしました。長男出産後、木城町でも女性消防団を立ち上げたいと思い、消防団に入団したんです。おかげで、消防団活

動は消防団に入る」と言つていて、家族表彰を受けるのが目標です。活動を通して、家族の絆の深まりを感じています。

知事 みなさん、それぞれにご苦労があり、やりがいを感じておられるようですね。とても心強く思いました。

これからも、ケガなどに注意して活動していただきたいと思います。



よりも早く家を出る時には、子どもを会場に連れて行き、活動の合間を見て保育園に送つてきます。

そんな私たちを気遣つて、2人の娘が長男の子守をしてくれることもあるんですよ。消防団活動をしていて良かつたと感じる瞬間ですね。子どもたちも「将来は消防団に入る」と言つてい



今神楽バンド。和太鼓と三味線の見事な音色が会場に響きわたりました。



パネリスト紹介



日向市消防団
女性部
平田 梅子さん
[団員歴:20年]

平成9年に日向市の広報誌での募集を見て入団。



門川町消防団
第1分団 第1部
島田 奈美さん
[団員歴:3年]

地域のバーベキューに参加した時に、団員に誘われたのが入団のきっかけ。



宮崎市消防団
女性分団
治田 文代さん
[団員歴:15年]

佐土原町（合併前）の広報誌での募集を見て、かっこいいという一心で入団。



木城町消防団
女性部
重永 仁美
[団員歴:4年]

消防団に所属するご主人の影響もあり、木城町で女性部を立ち上げたいと思い、入団。



都城市消防団
本部
中原 ゆかりさん
[団員歴:16年]

勧誘されたことがきっかけで入団。「団員との交流が楽しみです」。



日南市消防団
女性部
佐藤 麻衣さん
[団員歴:5年]

地域の役に立ちたい、地域を守りたいという想いがあり入団。

元北京オリンピック陸上日本代表
小林 祐梨子氏



講演は「ここ一番で私が実力を発揮できた理由 日頃のトレーニングと健康管理」というテーマで行われ、終始笑いの絶えない講演となりました。



節分の日が間近だったこともあり、豆まきが行われました。

消防団のさらなる

パワーアップへ

記憶に新しい熊本地震や九州北部豪雨。こうした災害時に消防団が活動をするにあたって、情報収集は欠かせません。そこで、平成29年度から消防庁が各都道府県の消防学校に偵察活動用資機材（オフロードバイク及びドローン）を無償で貸付、消防団への教育訓練を実施する事業がスタートしました。



赤外線カメラによる山間部の映像



災害支援用ドローン
「千鳥」

ドローンが持つ一番の強みは、災害現場を空撮することで、状況を正確に把握でき、その後の救助活動に役立てられることが挙げられます。この特性を活かすことでの幅が広がります。さらに

は、危険な場所に立ち入る必要がなくなるので2次災害を防ぐこともできます。いざという時に地域を守る消防団。こうした新しい技術を取り入れていければ、地域の防災力をさらに向上させることができます。

ドローン基礎訓練が行われました！

12月10日(日)、宮崎県消防学校において、消防団員および消防学校教員向けにドローンの研修が行われました。

実

際の現場での消防団の災害対応能力の向上を図るために開かれた今回の研修には、県内各地の消防団員と教官の計22名が参加。午前中はドローンの構造や飛行に関する規制などについての講習があり、午後は実際にドローンに触れ、操縦訓練を行いました。

団員たちは、2機のドローンを実際に操縦する班と、モニターを使ったデモフライトを体験する班に分かれ、ほとんどの方が初めて触れるとい

うドローンの操作に戸惑いながら懸命に練習していました。丸一日みつちりと行われた研修を終えた、宮崎市消防団木花分団の矢野さん。

「今回、消防学校に配備された機体には附加されていませんが、通信機能や物資運搬機能についても研究が進められているそうです。微妙な力加減で機体が動いてしまうので想像以上に操作が難しく、いざというときにドローンを使いこなすには定期的な練習が必要でしょうね」。

消防学校では今後もこうした研修を開催していくます。みなさんも参加してみませんか？



講師に操作を教わる団員



ドローンを使っての操縦訓練



モニターでのデモフライト操縦練習



宮崎市消防団
木花分団 第6部
矢野 淳さん

平成28年度のえびの市に続いて、今年度は椎葉村、日之影町及び五ヶ瀬町が県の「地域消防防災活動支援事業費補助金」を活用して、ドローンを導入しました。

まちのさらなる安全を目指して

昨年で結成20年を迎えた綾町消防団女性班。現在の班員は10名で構成されており、主に、高齢者宅の訪問や心肺蘇生法の講習などの活動を行っています。今回は、毎月1回行っているという高齢者宅の訪問に密着しました。



**うちら
女性消防団！**

この5年間で20%も増員している女性消防団員。今や消防団に女性の力は欠かせません。

高齢者宅へ

訪問してみると、親族の所に引っ越されたり、残念ながら亡くなっていることもあります。

ある日曜日の朝9時

高齢者宅へ到着。この日は7軒訪問して、5名の方と話がきました。

綾町消防団女性班 班長 岩脇加奈さん

高齢者宅へ到着。この日は7軒訪問して、5名の方と話がきました。

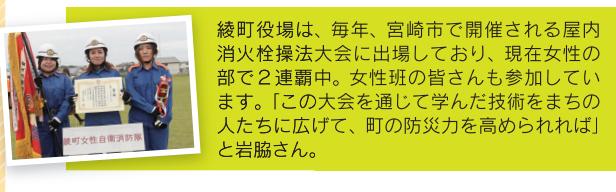
綾町行燈場に集合

この日、活動に参加したのは5名。2班に分かれて高齢者宅に向けて出発します。



お宅を訪問したら、体調や普段どんなことをされているかなどをヒアリング。聞いた内容は個人ごとにしっかりとメモして万が一に備えます。

高齢者の訪問は、今現在のみなさんの状況を確認できるのはもちろん、どこにどんな人が住んでいるのかを把握できるので、大規模な災害が発生した際の避難支援や救助活動に役立ちます。安心・安全なまちづくりのために、今後も頑張っていきます！



話がはずんで、気が付ければ1時間過ぎていたなんてこともあります。



こんなことを聞いています

- ①体の調子は？
- ②車の運転は？
- ③ご近所づきあいは？
- ④防災無線の調子は？
- ⑤近くに家族や親戚は？
- ⑥何か困っていることは？

万が一のときの救急カード



火災や急病で消防に電話をする際、慌てていて自分の住所や近所の目標物が出てこないことが多いんです。このカードに予め記入して電話のそばにおいていれば、その心配もありません。

女性班のみんなで手作りした救急カードを手渡して、訪問は終了しました。



地元の安心・安全守りたい!

我ら、消防団員

今回は椎葉村女性消防部を紹介します!



1 月6日、椎葉村で新春恒例の出初式が開催されました。式では、同村から全11部が集まり、通常点検や小隊訓練、そして一斉放水が行われました。そんな中、男性団員に負けじと、キビキビとした動きで通常点検を受けたのが椎葉村女性消防部のみなさんです。

昨年発足し、現在9名で活動する彼女たちにとって、今回の出初式は初めての経験です。「緊張していたせいか、あつという間に感じました(笑)」

と点検を終えて、ほっとした様子で話すのは部長の右田さん。この日のために昨年11月から練習を始め、12月には週に3回もの練習を重ねてきました。また、発足したばかりにもかかわらず、昨年11月には高齢者宅の訪問活動を行うなど、精力的に活動する女性部。今後については、「あくまでも家庭が優先になりますが、活動を長く続けていくためにも、できることをやりながら地域を支えていけたらいいのかなと思います」と意

気込む右田さん。「来年度は部の活動方針を作成しながら、少しづつメンバーを増やす取り組みをしていきたいですね。」

新たなチカラが加わりました

椎葉村女性消防部



出初式にて日頃の訓練の成果を披露

椎葉村では、毎年、出初式において、各部ごとに通常点検と小隊訓練を行い、日頃の練習の成果を競います。今年は18年ぶりに本部が優勝しました。団員たちは防災への心構えを新たにこの出初式から新年をスタートさせます。

←観客から大きな歓声があがつた色水放水



椎葉村女性消防部
部長
右田 邦子さん



消防団協力事業所紹介 ④

農業生産法人(株)かぐらの里

しろみ
(西都市銀鏡地区)

平成29年4月に西都市から、
平成30年3月には消防庁から
消防団協力事業所として
認定されています。



楽しく
活動して
います!



代表取締役社長
濱砂 修司さん
西都市消防団
第1分団 第1部
班長

誇りを持って地域防災の要を担う

今年で創業40周年を迎えるかぐらの里。県内随一の柚子の生産地である西都市銀鏡地区で、柚子の生産・加工・販売を一貫して手掛けています。同社では23名いる社員のうち、12名(パート含む)が消防団に所属。社長の濱砂さんももちろん消防団員です。

平成29年4月、尾八重地区で山林火災が発生したときには、社の団員が所属する第1分団の活躍で、被害を最小限に食い止めることができました。

出動の要請が入ったのは平日の日中。商談中だった濱砂社長は、お客様の了承を得て、急いで現場に向かつたそうです。「とにかく延焼を防がなければ」という一心でした。昔は、地域に住む人の数が多かったので急いで現場

に向かうことは少なかったのですが、今は人が減っているので、まず自分が動くということを心掛けています」と濱砂社長。

さらに、社員のみなさんへの指導について聞くと、「正直、消防団活動を優先するように言っているわけではないんです。この地域は消防署からの距離があるため、昔から、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が根付いています。習慣みたいなもので、私たちの地域にとってはごく自然なことかもしれません」と濱砂社長。

「これからも地域防災の要として、誇りを持ってやっていきたいですね」。



所属する第1分団は平成29年度宮崎県消防大会において「県知事表彰」を受賞しました

消防団協力事業所表示制度



「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制をより一層充実することを目的とした制度です。



田の神さあの里産業文化祭(えびの市)



ちびっこ消防のひろば(都城市)



美郷ふるさと産業文化祭(美郷町)



次はおまえらの町に
現れるかもな!!

都城市消防団、えびの市消防団、美郷町消防団及び都城市消防局の皆様ありがとうございました。

皆さんも火の
用心を!

県が消防団の魅力を発信するために作成した
PR動画「消TUBE」。その中の敵キャラクター
「マッチマン」が都城市、えびの市、美郷町のイ
ベントに登場し、大暴れしました。
各イベントでは消防団や消防局の皆さんと
ショーや共演す
るなど、防火・
防災をPR。会
場はマッチマン
の炎に包まれ
るところでした
が、皆さんの活
躍により無事鎮
壓。地域の安全
が確保されました。

マッチマン、 県内各地で大暴れ!!

Topics

消防団だより「DAN!!」は紙だけではない!

電子ブックはもちろん。さらに読みやすくパワーアップ!!

紙&電子版: 消防団だより「DAN!!」特集ページ

WEB版: 消防団だより「DAN!!」特集ページ

現場さながらの訓練で実践力アップ!! 潜入!! 消防署・消防団の合同訓練

WEB記事へ!!

過去のアーカイブも WEB記事として閲覧可能です

WEBやスマホでは 縦スクロールの方が 断然、読みやすい!

消防団だより「DAN!!」 特設サイトへ スマホやタブレットはこちらから。

消防DAN 検索

QRコード

求ム、消防団員!

宮崎県には、14,688人(平成29年4月1日現在)の消防団員が、それぞれの職業を持ちながら、火災・地震・風水害から住民の生命と財産を守るためにがんばっています。あなたも、消防団員として活動しませんか? 詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

女性の団員も増えています!

一人暮らしの高齢者宅を訪問しての防火点検や子どもを対象にした防災教室のほか、人工呼吸や応急手当の普及指導など、細やかな視点を活かしての防災啓発などを行っています。

この5年間で
20%増!!

消防団活動には
女性のチカラが欠かせません!

平成29年
356名



平成25年
299名



女性編「マッチマンを起こせ!」

「消TUBE」始動!!

県では、消防庁の「平成28年度 女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」を活用して、女性や若者をターゲットとした消防団加入促進のための映像「消TUBE」を作成しています。

この映像は、県の情報を動画で発信する「宮崎県庁楠並木ちゃんねる」や「You Tube」でもご覧いただけます。

現役消防団員も出演しますので、ぜひご覧ください。

地域の安全のために『一致団結!』

DAN!!

宮崎県消防団だより「ダン!!」

[Vol.12]

平成30年3月発行

[発行]

宮崎県総務部 危機管理局 消防保安課
〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
TEL0985-26-7627 / FAX0985-26-7304

[企画編集・デザイン・印刷]

株式会社 宮崎南印刷
〒880-0911 宮崎市大字田吉350番1号
TEL0985-51-2745 / FAX0985-52-2682

